

太良は合併しなくてもやっていける！

町の「財政試算」をたたき台に前向きな議論を進めよう

良夫 太良町が「合併しなかった場合の財政試算について」というのを発表したね。

太郎 太良町が合併しない場合の財政試算をすべきだと主張してきたけど、町もようやくその気になってきたようだね。今日は、それを見てみよう。

もっと思い切って人件費を削減すれば

大浦支所を残し、負担増を押さえ、事業費を増やせる

良夫 どんな内容か紹介してくれないかね。

太郎 地方交付税が15年度を基準にして23年度までに24%近く減るということを前提にして、それを埋め合わせるために税金や負担金などの引き上げで約5200万円の収入増をはかり、人件費や各種事業・補助金の廃止・削減で3億2100万円の支出を削減した場合、「施策可能経費」(主に公共事業にあてられる財源)はどうなるか試算したものだ。

良夫 それで、太良はやっていけるんかね。

太郎 試算では、「施策可能経費」はプラスになっている。合併協議会の財政シミュレーションでは、マイナスになっていたのとは大違いだ。これまで、私たちは「交付税収入が減ったら、人件費や経費を削って太良を残そう」と主張してきたが、どこをどれだけ削るかという議論のたたき台になると思う。

良夫 だけど、試算の中には、大浦支所の廃止など町民が困ることもあるよ。それに、町民の負担も増える。「施策可能経費」はプラスにはなるけど、これで足りるのかと心配だ。

太郎 その通りだ。この試算は、そのままよいというわけにはいかない。特に、基金(繰入金)が底をついてくる時期と現在の借金を返済しなければならない時期が重なる時期(25年度

から数年間)が厳しくなる。その対策が必要だ。例えば、人件費の削減という項目を見ると、23年度までに職員定数を11名削減することになっている。これを、26年度まで19名削減するというようにすると人件費の削減がもっとできる。

良夫 職員定数の1名減で約770万円の人件費削減になるから、これで6000万円以上追加の削減ができるね。これにともなって、事務経費も減らせる。それに、自動車は普通車を軽自動車に切りかえるなどという経費削減対策も必要だね。もっと、経費を削減できるよ。

太郎 基金は最初の数年間で大部分を使ってしまうのでなく、もう少し細く長く使う。30年度を過ぎると、借金返済の負担が軽くなってから施策可能経費も増えてくる。

良夫 そうすれば、大浦支所を残すことができるし、町民の負担増を可能な限り押さえることができるね。国・県の補助金、起債を加えて施策可能経費を増やすこともできる。各地区の説明会では、こんな議論をうんとしなければならぬね。

合併して、役場がなくなり、さびれていくより

辛抱しても役場を残し、太良町を残す道を選ぼう

太郎 そうだ。8日に開かれた鹿島・太良合併協議会主催の説明会では、鹿島からきた人が、この試算を使って「だから、太良は合併しなければ大変だ」と言っていたけど、全く違う。議会・役場・町民の三者がお互いに身を削り、しんぼうすれば太良を残すことができる。町民の声を生かした町づくりを進めることができる - - この議論が大事だ。

良夫 前向きな議論だね。すぐに合併話に逃げ込むようではダメだね。

合併問題の話

お茶の間に出前します
お茶の間の2~3人の集まりにも出前します。どんどん、声をかけてください。

合併反対・太良町を残そう

No.22 2004.5.12

発行 合併反対・太良町を残す町民協議会

連絡先 北町 川上賢二 Tel 67-9072

ホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ken-1941>

負担増・さびれる地域 - 合併市の現実

良夫 8日に開かれた鹿島・太良合併協議会の説明会では、太良の水道料金は上げない、総合支所をおくなどとバラ色の話だった。実際にはどうなんだろう。

太郎 4月22日の朝日新聞に、これまでに合併したいいくつかの市の事例がのっていた。「合併新市苦い現実」という見出しがついていたよ。

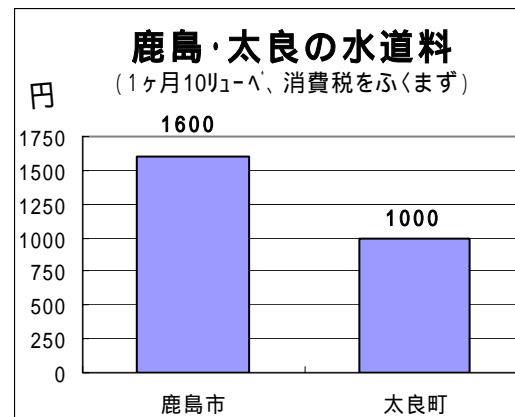
合併4年目で水道料料金値上げ-潮来市(茨城県) 「料金が値上げになれば、合併話が流れてしまう恐れがあった」

太郎 茨城県の潮来(いたこ)市は、合併してから3年間、水道料金は旧町ごとの別料金のまますえおいてきたが、4月から統一料金とし、大幅に値上げしたということだ。

良夫 旧自治体ごとに別料金にするというのは、鹿島・太良と同じだね。

太郎 合併した旧牛堀町の場合は、一般家庭で38%(月22リユ-使用の場合)も上がった。合併当時、旧牛堀町の町長だった森内氏は「料金が値上げになれば、合併話が流れてしまう恐れがあった」と語っている。潮来市では、そのほかに、4月から下水道の基本料金の値上げ、ゴミ収集手数料の上乗せなど住民負担増が続いているという。

良夫 昨年12月に4町が合併してできた三重県・いなべ市の市長は「合併するかどうかの話し合いの段階では、住民に同意してもらう必要もあって、水道料は下から2番目に、国保は最低の額にあわせた。早晚値上げせざるをえない」と語っている。



かんこどり

旧町役場から職員が消えた。商店街は閑古鳥

太郎 朝日新聞の記事には、岐阜県山県(やまがた)市の美山支所の話が載っている。旧美山町

役場時代には約80人の職員が働いていたが、昨年4月の合併で支所となり、職員は9人になった。今年4月からは6人に減ったという。朝日新聞は、ある市会議員の「ここまで人が減らされるとは思っても見なかった。このままでは、いずれ支所もなくなってしまう」という言葉を紹介している。

良夫 支所のまへの喫茶店は開店休業の状態と書いてあるね。

太郎 役場だけでない。町内に二つあった中学校は統合され、役場近くの地元信用金庫の出張所は無人数化したという。

良夫 七浦が鹿島と合併して村役場がなくなったのと全く同じだ。役場がなくなると、地域の商店街は閑古鳥、中学校は統廃合、金融機関は撤退---太良の将来が目に見えてくるような気がするよ。

合併を進めるための方便・無理だとわかっていても

太郎 財政的には無理だとわかっていても、合併反対の声をさえるために、「高サービス・低負担」をうたい文句にしたんだね。

良夫 合併を進めるための方便だ。こんなものにだまされたらダメだ。

合併で、大浦はどうか？
どうしたら、太良町を残せるか？

本音で語り合う会

とき 5月15日(土)午後7時半より
ところ 大浦公民館

お気軽にご参加下さい